

登米地域だより

R6年度 夏号

登米の地から



とめのちから

登米の力

トップマネジメントセミナーを開催しました！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

管内企業の企業力向上を目的に、経営者や管理者の方々を対象としたセミナーを6月26日（水）に開催しました。

今回は、株式会社産業タイムズ社の齋（もたい）秀樹氏を講師にお招きし、「半導体の最新動向と今後の見通し」と題して、半導体産業の現状や各メーカーの設備投資の動き、半導体工場に必要な資源や人材育成等について、最近のトピックスを踏まえて、わかりやすくお話をいただきました。

県内への大規模半導体工場の建設が発表されるなど、半導体産業への関心が高まる中、参加者からは、「今後成長が期待される分野の話を知ることができてよかった」、「半導体の最

新動向について知ることができた」などの感想をいただき、有意義なセミナーとなりました。



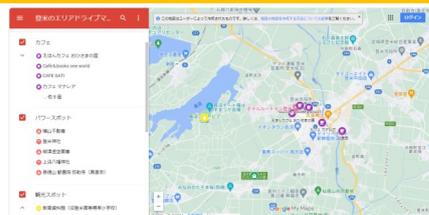
セミナーの様子

デジタル版！登米エリアドライブマップを作成しました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

当所地方振興部では、今年度、Googleマイマップ機能を活用した「デジタル版・登米エリアドライブマップ」を作成しました。当所地方振興部のホームページに掲載のリンクから入り、どなたでもご利用いただくことができます。

マップには、登米市内のおすすめのカフェや、縁結びや運氣上昇などの御利益がある寺社等のパワースポット、観光スポット等を掲載しています。経路検索も可能で、スマートフォンからもご利用いただけます。また、施設情報も掲載しており、営業時間や定休日、InstagramなどのSNSをチェックすることもできますので、ぜひ、ご活用ください！



「デジタル版・登米エリアドライブマップ」へ掲載を希望する事業者も募集しております！

詳細については、上記QRコードから運営要領をご確認の上、お問合せ下さい。

今年も「グリーンな水稻栽培」に取り組みます！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

登米市は、県内で最も環境保全米の取り組みが盛んな地域です。

昨年度は、JAみやぎ登米や肥料メーカー等、関係機関と協力し、「ペースト肥料の田植同時施用によるプラスチック被覆肥料の利用削減及び減肥栽培」や「ペースト肥料以外の非プラスチック被覆肥料を用いた栽培」等、従来の環境保全米から一歩進んだ「グリーンな栽培体系」を目指し、展示ほの設置・調査等の活動を行いました。その結果、従来の環境保全米と遜色ない収量・品質を得ることができました。

今年度も「グリーンな栽培体系」の普及拡大に向け5か所の展示ほを設置しました。このうち登米市豊里町のひとめぼれ展示ほでは、「田植えと同時に、慣行の約1/3の窒素分量のペースト肥料を3cmと9cmの2段階の深さに施肥」という設計のもと、5月20日（月）に最新式の8条田植機で田植えを実施しました。

当日はあいにくの雨となりましたが、約10人が田植えに立ち会いました。60aの田植えは、大きなトラブルもなく約1時間で終了し、「雨でも肥料補給が可能」というペースト肥料のメリットも確認することができました。今後は定期的な生育調査を実施し、結果は広く周知していく予定です。

農業振興部（登米農業改良普及センター）では、今後も関係機関・団体と連携し、環境負荷軽減を目指す「グリーンな栽培体系」の推進を行ってまいります。



ペースト肥料田植機での田植えの様子

「市民参加の新たな森林づくり・春」が行われました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部

令和6年5月26日（日）に登米市津山町の森林で、毎年恒例の植樹祭が行われました。155人の参加者の方々により、登米市有林にコナラの苗木720本を植栽しました。コナラは登米市の里山林を代表する樹種で、生長すると家具やフローリング材として利用できます。

植栽された木は、二酸化炭素を吸収しながら

生長し、地球温暖化防止に貢献します。

今回の植樹祭は、令和7年・秋に白石市で行われる「第48回全国育樹祭」の記念行事にもなっています。全国育樹祭は、森林を守り育てることの大切さを広く伝えるための行事です。

今回植栽したコナラも下草刈りなどの手入れを行って、大きく育てていきます。



植栽したコナラの苗



植樹の様子

令和6年度みやぎ出前講座

「田んぼの学校」を開催しました！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部

農業農村整備部では、登米市立東郷小学校からの申し込みを受け、6月12日（水）に学校近くの農業用用水路でみやぎ出前講座「田んぼの学校」を開催しました。本活動は、自分たちの住む農村や田んぼが持つ役割を理解してもらうことを目的としています。当日は、5年生27人（教職員3人）が参加し、当部職員に加え、迫川沿岸土地改良区職員と地域の環境を守る「裏大岳ふる里守り隊」の皆さんに御協力いただきました。



生き物捕獲の様子

講座では、田んぼの役割について講義を行った後、水路内の水質調査や生き物調査を行いました。子供たちからは、「生き物をたくさん捕まえることができて楽しかった。」などの感想をいただき、大好評でした。

当部ではこれからも、「田んぼの学校」の活動を継続し、子供たちの農業・農村に関する学習を支援していきます。



生き物調査の様子

令和7年・秋に「第48回全国育樹祭」が開催されます!!

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを国民に伝えるため、昭和52年から全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催で毎年秋に行われている国民的な緑の祭典です。

全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木について、皇族殿下によるお手入れ（枝打ち・施肥等）が行われるシンボリックな行事のほか、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事などが行われます。

令和7年秋に開催される第48回全国育樹祭が、宮城県では初めての全国育樹祭開催となります。



みやぎ 2025
第48回 全国育樹祭
次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

全国育樹祭とは
継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発するため
毎年秋に開催されている森林・緑の祭典です

南方有機センターおよび迫有機センターの 補修工事が完了しました！

宮城県東部家畜保健衛生所

登米市内には7か所の家畜排せつ物処理施設（有機センター）が設置されており、畜産農家から搬入された家畜ふん尿は、有機センターで発酵処理され、良質な完熟堆肥としてほ場に還元されています。

当該施設のうち南方有機センター及び迫有機センターでは、平成16年の稼働開始から15年以上が経過し老朽化が進んできたことから、国庫補助事業【資源リサイクル畜産環境整備事業（南方・迫地区）】を活用し、施設の長寿命化、効率化を図るため、令和4年度から補修・補強に取り組んできました。

これまでは、それぞれの有機センターで堆肥の一次発酵処理から二次発酵、製品堆肥の保管までを全て行っていましたが、令和2年度から、南方有機センターをメイン施設、迫有機センターをサブ施設として運用しています。堆肥の一次発酵処理をメイン施設に集約し、二次発酵から製品堆肥の保管まではこれまでどおり両

施設で行うよう、それぞれの機能を整理し、効率的な施設運営を図っていくため、発酵処理施設や堆肥保管庫等の補修・補強を行いました。また、一次発酵処理を行う南方有機センターでは堆肥攪拌機の更新も実施し、令和6年3月に補修工事が完了しました。

リニューアルされた両有機センターでは、これまで以上に耕畜連携の拠点施設としての役割を果たしていくことが期待されます。



新しくなった堆肥攪拌機（南方有機センター）



登米市南方有機センター



登米市迫有機センター

※公式InstagramとX「ほっとめーしょん」で

登米地域の“ほっと”な情報を発信中です※

おすすめの食べ物や景色、施設のほか、季節のおすすめスポットなど、

登米地域の様々な魅力情報を職員目線で発信しています。

投稿内容は、「ほっとめーしょん」で検索していただくか、

右記QRコードよりご覧ください！



Instagram



X (旧Twitter)

国道346号飯土井道路改良事業が完了しました！

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

国道346号は、仙台市青葉区と気仙沼市を結ぶ延長111.2kmの幹線道路であり、そのうち東和町飯土井地区は、家屋が密集し車道幅が狭小であるため、大型車どうしのすれ違いが困難で交通の難所となっていました。

当該区間の安全で円滑な交通の確保を目的として、平成27年度に道路改良事業に着手し、令和4年12月に県道交差点までの部分供用(L=380m)を、令和6年5月には全区間(L=720m)の供用を開始しました。

この事業の完了により、車道幅が拡幅され、新たに歩道が設けられたことで、国道を通過する車両の円滑な通行や住民の歩行空間の安全が図られるとともに、災害時の緊急輸送路としての機能も向上しました。



事業前



事業完了

第1回迫川流域治水研修会を開催しました！

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

迫川流域治水研修会は、迫川流域を管理する県の事務所の職員や同管内の市職員の人材育成等を目的に、令和4年度から迫川河川改修の歴史や河川管理施設の役割等に係る研修会を開催しています。

今年度は、本格的な出水期前となる5月31日に「迫川流域の治水対策及び排水調整」をテーマとして、第1回目の研修会を開催し、迫川流域の概要や長沼ダムの役割、洪水時における排水調整に関する座学と、長沼ダム管理施設の砂原越流堤、砂原水門の現地研修を行いました。

当研修会は年4回程度の開催を予定しており、関係機関の相互連携の充実強化や職員の防災・減災等に向けた知識・資質の向上を図ってまいります。



研修の様子



現地（砂原水門）